

2022年10月25日

各位

株式会社 もみじ銀行

有限会社藤原軽天の「SDGs経営立ち上げ支援サービス」利用による 『SDGs宣言』策定について

もみじ銀行（頭取 小田 宏史）は、持続可能な社会の実現に向けた取り組みとして、「SDGs経営立ち上げ支援サービス」を開始しており、お客さまのSDGsに関する取り組み状況の診断と今後の課題抽出を行うことで、『SDGs宣言』の策定に向けた支援を行っております。この度、当サービスを通じて、『SDGs宣言』を策定されたお客さまについて、下記のとおりお知らせします。

当行は、地域の皆さまと共に歩み、共に成長するため、様々な事業活動を通じて、多様な課題の解決に取り組み、地域の価値向上を実践していくことにより、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

1. 企業概要

企業名	有限会社藤原軽天
所在地	広島県福山市千田町1丁目36-38
代表者	藤原 光弘
業種	内装工事業
URL	https://fujiiwarakeiten.co.jp

※有限会社藤原軽天の『SDGs宣言』については、別紙をご参照ください。

2. 山口フィナンシャルグループのマテリアリティ

山口フィナンシャルグループは、持続可能な社会の実現に貢献していくために、「グループサステナビリティ方針」を策定し、この方針に基づき、重点的に取り組むべきESG課題である「マテリアリティ」を特定しております。本件は、12のマテリアリティの中で「②地域におけるイノベーション創出、地域産業の成長サポート」の実現に資する取り組みです。

 地域社会・ 経済活性化への 取り組み	①人口減少・少子高齢化への対応 ②地域におけるイノベーション創出、 地域産業の成長サポート ③地域コミュニティとの連携強化 ④商品・サービスの安全性と品質向上	 環境保全への 取り組み	⑤省資源・省/創エネルギーへの対応 ⑥大気汚染・気候変動への対応 ⑦環境に配慮した商品・サービス開発
 役員全員への 働きがいへの 取り組み	⑧人材育成・研修機会の創出 ⑨安心・安全な労働環境作り ⑩多様な人材の活躍 (ダイバーシティ&インクルージョン)	 強固な 経営基盤づくり への取り組み	⑪ガバナンス体制・内部統制の強化 ⑫経営の透明性向上と説明責任

以上

【本件に関するお問合せ先】

ワイエムコンサルティング株式会社 担当：松浦 TEL：082-567-5280
事業性評価部 ソリューション推進グループ 担当：小林 TEL：082-241-3652



有限会社藤原軽天 SDGs宣言

当社は、「お客様に納得し、喜んで頂ける施工。自分自身に誇りを持てる施工。そして若手育成にも積極的に取り組み、業績・施工技術ともにこの地域で業界ナンバーワンを目指して日々努力しております。」という企業理念のもと、事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2022年9月6日
有限会社藤原軽天
代表取締役 藤原 光弘

重点項目(ターゲット2030)

地域での業界No1を目指して

福山エリアを中心に内装工事の施工を行い、皆様の暮らしを支えてまいりました。これからも安心・安全な施工に努め、お客様に納得し喜んでいただけるよう邁進してまいります。

【主な取り組み】

下貼り工事等における特殊技術による施工
日本耐震天井施工共同組合に加盟

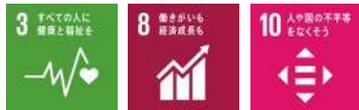


多様性を尊重した組織づくり

外国人技能実習生の受入れ等、多様性を尊重した差別のない組織づくりに努めてまいります。コミュニケーションを積極的にとることで社員の要望を把握し、職場環境の改善に取り組んでまいります。

【主な取り組み】

外国人技能実習生の受入れ
OJT研修の実施、事務所建物内の禁煙
社員の要望把握



環境への配慮

軽鉄下地廃材のリサイクル等を通じて、環境負荷の低減に取り組んでいます。社員の省エネ意識を高め環境に配慮した事業を行うことで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【主な取り組み】

軽鉄下地廃材のリサイクル、社内照明のLED化
ハイブリッド車の導入、ペーパーレス化の推進
節水の励行



ガバナンスの強化

ガバナンスの強化に取り組み、事業の持続的な成長に繋げてまいります。真摯に仕事と向き合うことで、ステークホルダーの皆様から信頼される企業を目指してまいります。

【主な取り組み】

法令遵守の徹底
公正な取引の遵守
顧客情報の適正な管理



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。